



第54号

こまがた元気会だより



お味はどうですか？

「ちょっと一口お届け事業」が実施されました！

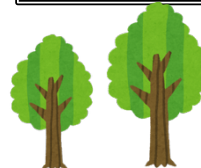


今年度で2回目の「ちょっと一口お届け事業」（昨年度は3月3日）が11月23日

（日・勤労感謝の日）に実施されました。駒形地区生活支援支え合い会議や健康づくりサポートチームのメンバーが弁当を作り、駒形小学校の子どもたちのメッセージを添えて、民生児童委員さんにより一人暮らしの高齢者など担当する方々に届けられました。今年は「さつま芋ご飯」で、駒形小学校のおコメや地元産野菜が使用されました。



杓子ヶ入メグスリノキの 保全・後継樹育成に取り組んでいます！



雄国山麓のシンボル・杓子ヶ入メグスリノキ（林野庁「森の巨人たち100選」）の調査については本紙第52号で紹介しましたが、このたび枯幹枝の切除、後継樹育成のための穂木採取が行われました。

11月4～5日に
枯幹枝の切除、サ
ルノコシカケの除
去を行いました。
高所作業の伴う特
殊伐採作業でした
が無事終了しまし
た。



11月5日には国立研究
開発法人森林研究・整
備機構 森林総合研究所
林木育種センターの職
員の方が、後継樹をつ
ぎ木・さし木で増殖・
育成するための穂木の
採取を行いました。



令和7年12月25日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町竹屋丙 30-1（駒形げんき交流館）

電話 080-2805-1050（事務局：大平）

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO 法人かけはし（代表理事 石島 来太）喜多方市寺田 4905-21



《公式HP》

C (歴史・文化等) グループの視察研修が行われました!

「こまがた元気プラン」では「まるごと駒形ミュージアム構想」を掲げていますが、参考とするため11月14日に西会津町内の施設・活動3か所の視察研修を実施しました。高齢の方も地域おこし協力隊と卒隊者など若い人も大変な「熱量」を持って活躍している姿に刺激をいただきました。



古川利意記念美術館「農とくらし」(奥川地区)・・・会津坂下町を拠点に作家・郷土史家として活躍した古川利意さんの作品を、この地区の小野木麗子さんが蔵を改修して展示・運営している。近くにカフェも併設。



西会津国際芸術村(新郷地区)・・・外国人を含め芸術作品の展示、創作活動の場。長年にわたり地域おこし協力隊の活動拠点になっている。



私設公民館「いとなみ」(上野尻地区)・・・町外から移住した若いご夫婦が私設の集会施設・図書館、宿泊施設を運営。



「ビオトープ」事始め・基本講座開催のお知らせ

「ビオトープ」とはドイツ語で「生きものの暮らす場所」の意味。南原堤は水辺環境もありビオトープにふさわしい場所と言えます。人々が交流し、憩い、学習する場として、また多様な生物の生息する場としての望ましい環境づくりなど、ビオトープの基本について3回にわたって学習します。

- 講師 森田 正明氏(日本生態系協会会員・ビオトープ管理士・元熱塩加納地区地域おこし協力隊)
- 日時 ①1月15日(木) ②2月19日(木) ③3月19日(木) いずれも13:30~15:30
- 場所 駒形げんき交流館「よっか」 ■ 受講料 500円/回(通し券1,000円)
- 申込み 前日までに事務局(前記)にお願いします。



「こまがた元気マルシェ」冬季休業のお知らせ

「こまがた元気マルシェ」は12月26日(金)をもって令和7年度の営業を終了し冬季休業に入ります。再開は4月下旬の予定です。今シーズンも11月末から駒形小学校の農業科で作ったおコメやサツマイモを取り扱わせていただき好評でした。ご愛顧いただきありがとうございました。



なお、好評発売中の干し芋・焼き芋(冷凍)は駒形げんき交流館「よっか」において、その開館中は引き続き取扱いますので、生産者・吉井(090-4476-0281)又は事務局(前記)に連絡ください。

